

湖西市未来ビジョン会議 委員質問事項一覧

戦略	施策	施策名：施策または基本事業の成果指標	回答	委員
		質 問		
1	6	福祉：障害者にとって住みやすいまちと思う市民の割合	ご意見を踏まえ、資料1の該当部分の記載方法を具体的な単語を含めたものに修正しました。	永井委員
		「5. 分析と考察」のうち「⑥福祉」の障害者の記載が分かりにくい。		
1	9	公共交通：高齢者の自動車依存率（70歳代以上）	地区の高齢者の集まりで公共交通機関に関する出前講座（BaaSやデマンド型乗合タクシーの乗り方教室）を毎年活用していましたが、2020～21年度はコロナ禍で出前講座の開催機会が減少しており、高齢者の公共交通を利用するきっかけ作りの機会が減っています。また、市内の鉄道利用者の推移は、コロナ感染症の影響が始まった2021年度からJRや天竜浜名湖鉄道ともに減少しており、高齢者に限った数値ではありませんが、不特定多数の人と混乗することとなる公共交通による移動が敬遠されたものと推測されます。湖西市は徒歩圏内で日常生活が完結する地域は限られていることから、このような分析をしています。	永井委員
		「5. 分析と考察」の「公共交通」の記載の中で、自家用車を選択する人が多いからとの記載は適切か。		
3	14	モノづくり産業の活性化：中学3年生が将来湖西市で働きたいと思う割合	今回の調査では、将来湖西市で働きたいと思うかを質問し、「はい」「いいえ」「わからない」の選択肢から、その選択肢を選んだ理由を自由記述で質問しました。「わからない」と答えた生徒の傾向としては、「現時点では、なりたい職業や働きたい場所についてまだ決まっていない」という内容の記述が多く見受けられます。今後アンケートを継続的に行うことで、生徒の考え方に対する傾向や分析、考察も深まるため、より答えやすい質問文章や選択肢などを検討していく予定です。	永井委員
		中学校3年生の湖西市で働きたいと思う割合が大きく減少した理由として「わからない」が増えたとあるが、「わからない」が増えた理由を分析、考察する必要があるのではないか。		